

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2013

創刊号



南但消防本部発足式

災害状況



6月20日現在

- ・火災… 23件
- ・救急… 1,354件
- ・救助… 36件

主な内容

南但消防本部発足

2-3

- ◆ 消防指令業務の一元化
甲種防火管理新規講習会
消防ふれあい祭り …………… 4
- ◆ 消防士にトライやる …………… 5
- ◆ 消防写真館・消防白書
火災調査レポート …………… 6-7
- ◆ お知らせ …………… 8

南但消防本部発足



平成25年4月1日、養父市消防本部と朝来市消防本部とが統合し「南但消防本部」として消防・防災活動をスタートしました。
 統合して様々なスケールメリットを活かし、住民サービスの向上を図り、住民の皆様の期待と信頼に応えるようにするものです。発足当日は決意も新たに盛大に発足式典を挙行了いたしました。
 その様子を、両市の住民の皆様にもお伝えしたいと思います。

▲発足式典訓練披露・一斉放水訓練

南但消防本部発足式

管内面積が県内24消防本部中3番目の約826キロ平方メートルに及ぶ広大なエリアを担う「南但消防本部」の発足式典が、4月1日、朝来市和田山町枚田の本部庁舎で開かれました。

式典では、南但広域行政事務組合の多次勝昭管理者（朝来市長）から、新調された消防本部旗が小川宏昭消防長に授与されました。

（下写真参照）

続いて消防長は、多数のご来賓・関係者が見守る中、出席した約60人の職員に対し「今年には基礎づくりの年。初心を忘れず協力し合い、迅速かつ勇敢に職務にあたってください、いただきたい」などと訓示しました。

一様に緊張した面持ちの職員らは、改めて「住民の命と暮らしを守る」という重責をかみしめていました。

中高層ビルから火災が発生 逃げ遅れを救え

式典終了後、屋外訓練場へと場所を移し、両消防本部が合併するメリットを住民の皆様にわかりやすく発信するために、朝来消防署と養父消防署が合同で消防訓練を実施し、合わせて南但消防本部と目指すことを目的に、救急救助訓練及び一斉放水訓練を実施しました。



▲消防本部旗の授与

朝来消防署から6台28名、養父消防署から3台16名、合計9台44名が訓練に参加し「消防ビルから火災が発生し逃げ遅れあり」との想定のもと、訓練を開始しました。

訓練は、2階・3階にそれぞれはしごをかけ要救助者を救出、5階からのはしご車により救出（次ページ上写真参照）、最後は両消防署員が協力して8線の一斉放水を行いました。（上写真参照）

訓練終了後は参加隊員全員が2列横隊に整列し、朝来消防署の田中良人消防司令補と、養父消防署の田中裕臣消防司令補が職員を代表し、次のようなメッセージ宣言を行いました。



▲逃げ遅れ者救助訓練

消防署等の配置は1本部（南但消防本部）、2消防署（朝来・養父消防署）、2出張所（生野・大屋出張所）とし、これらの位置は広域化前と変化はありません。また、消防職員定数は1人増の98人とし、定員管理計画に基づき安定的な消防力の確保を目指します。

また、初動時の災害対応は原則として署所対応とし、これまでと大きく変わりはありませんが、広域化に伴い管理部門や通信部門で

今後の消防体制と災害対応

「私たち消防職員は、火災をはじめ各種の災害から、住民の生命や財産を守り、人を慈しむ心と、使命感を持って人命救助に最善を尽くします」。「そして、住民の皆様と手を取り合い、地域住民の防災意識を高め、養父市民、朝来市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます」との言葉です。この行事を締めくくりました。

（中写真参照）



▲メッセージ宣言

生じた余剰職員を現場活動要員として配置することによって、初動時における現場活動の強化を図りました。

そして、大規模な災害や複数の傷病者が発生した事故などには、消防広域化に伴い消防本部全体の消防部隊数が増加したことによって、消防署の管轄区域を越えて現場対応に必要な部隊数を迅速に出動させることが可能となりました。大規模な建物、トンネル等の火災には、それぞれの消防署からお互いに消防隊1隊が出動します。

消防団との連携は、これまでどおり各市ごとに連携を保って行くようになりませんが、広域化が消防団との連携を損ねないよう、しっかりと意思の疎通を図って行きます。

消防長あいさつ

今後は、消防統合のメリットを十分引き出しながら、養父市・朝来市のより一層の安全・安心のた

祝 南但消防本部発足式



▲南但消防本部初代消防長 小川 宏昭

めに努めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

高めていかなければならないと考えています。

このような中、関係各位のご理解、ご努力により平成25年4月1日「南但消防本部」が発足し、職員94名を基本とする新しい組織として、消防体制の充実強化、より質の高い住民サービス、消防に関する行財政運営の効率化及び基盤の強化を図り、地域住民の皆様方に、一層の安全・安心をお届けできる消防体制を目指すこととなりました。

消防広域化の効果の一つとして、災害初動段階での部隊配備の増強とともに応援部隊を迅速に配置できることや、近年の救急需要の高まりから、市内の救急隊が出動してしまう事例もありましたが、広域化により近隣の署所から出動するという消防広域化の大きな効果により住民サービスのさらなる向上が期待されるものです。

今後、こうした効果を最大限に活用し、更に消防団との連携を密にし、地域の皆様方と協働して、安全で安心な地域づくりを努めてまいりますので今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

消防の責務は、市民の皆様方の生命、身体及び財産を火災などの災害から守り、安全で安心して生活できる町づくりを推進することにあります。

しかし、社会構造の変化に伴い、消防業務は複雑多様化の一途をたどっており、ゲリラ豪雨、豪雪等の自然災害も毎年のように発生し、全国各地で大きな被害が出ています。

また、近いうちに発生が危惧されている東南海・南海地震などの大災害に備え、消防力の強化を図るとともに、消防職員一人ひとりの知識と技術を、更に

消防指令業務の一元化

消防本部発足に伴い、消防指令施設も一元化され、養父市内と朝来市内の119番通報がすべて南但消防本部（旧朝来市消防本部）高機能消防指令センター（左写真参照）に繋がるようになりました。

高機能消防指令センターは119番通報を受信すると統合型位置情報通知システムにより瞬時に通報場所を特定し、出動の部隊編成から出場指令までの時間短縮を図ります。

また、出場部隊に対して音声指令と、事前情報を記載した指令書により情報を伝えることにより、これまで以上に確かな災害活動が可能となりました。

さらに、住民の皆さんが火災等の場所を確認できる災害情報テレホンサービス（079-672-0134）が使用可能となりました。



▲高機能消防指令センター

甲種防火管理新規講習会

6月20日（木）、21日（金）の両日、養父消防署で甲種防火管理新規講習会を開催しました。

1日目の講義では、防火管理制度、防火管理の日常業務と防火管理責任、消防用防火設備とその維持管理、危険物と災害対策、防火管理と火災の知識、自衛消防活動と消防計画等について学びました。



▶講習会



▲受講者による消火訓練

2日目は実技訓練で、訓練用消火器を使った消火訓練、煙の部屋を避難する煙の体験、そして最後に効果測定がありました。

最終熱心に受講され28名全員が資格を取得されました。

受講者の一人は、「今回学んだ事を生かし、早速会社で消防計画を作成して、職場の防火、防災に努めたい」と抱負を語っていました。今後リーダーとしての自覚を持ち、講習会等で習得した知識を十分に発揮できることを期待しています。

第10回 消防ふれあい祭り

4月21日、イオン和田山ショッピングセンター駐車場で「第10回消防ふれあい祭り」を開催しました。

会場では、全ての住宅に義務設置となった住宅用火災警報器や、自動体外式除細動器（AED）の展示コーナー、また、水消火器を使った消火訓練体験や毎回子供たちに大人気のはしご車体験乗車コーナーを設けました。

朝から小雨が降り、午後からさらに強くなった雨のため、はしご車体験コーナーを一時中断しなければなりませんでした。



▶消火訓練



▲はしご車体験

はしご車にはたくさんの子供たちが順番を待ち、緊張して乗り込みましたが、降りるときには元気いっぱい笑顔で「全然怖くなく乗りたい！」と答えていました。子供たちの輝く笑顔から、未来の消防士を夢見てくれることを期待せずにはいられませんでした。今回の消防ふれあい祭りでは、悪天候にも関わらずたくさんの方が来場され、住宅用火災警報器の設置や消火器の取扱いについて尋ねられる方があり、市民の防火・防災への関心の高さを感ずる一日となりました。

消防士に トライやる

今年も市内中学2年生を対象としたトライやるウィークが各消防署で実施されました。

この取り組みは、阪神・淡路大震災等を機に、「生きる力」を育むことを目的に、職場体験などを通して地域の人々と交流し、「心の教育」を充実させるために実施されています。

朝来消防署には、6月3日から6月7日までの5日間、和田山中学生4人、朝来中学生3人、生野中学生2人の合計9人が参加しました。

養父消防署には、5月27日から5月31日の5日間、八鹿青溪中学生2人、養父中学生2人、関宮中学生2人の合計6人が参加しました。

今回のトライやるで得た知識・技術・精神力そして命の大切さを今後の人生に生かし、何事にもめげずにチャレンジ精神で、あらゆる分野で活躍してくれることを期待しています。



▲朝来消防署トライやる9人

朝来消防署

消防署の朝は、全員が整列しての勤務交替と消防体操、消防車や救急車の点検整備で一日が始まります。

実際に筒先を持つての放水訓練、高さ7mで長さ20mのロープを渡ったり、高さ15mもある垂直の梯子を登る救助訓練も体験しました。

最終日には総合訓練で、消火器を使った初期消火訓練、空気呼吸器を背負い人形を救出する救助訓練、ポンプ車から放水する消防訓練などを消防署長に披露しました。

最初は緊張した面持ちで、



△ロープ渡過訓練

体操もぎこちない動きでしたが、日に日に表情が凛々しくなり、慣れない体操も力強くできるようになってきていたのがとても印象的でした。また、短い期間のチームでしたが、チームワークがとてよく、火災の消火、人命救助など、一丸となってやり遂げました。感想を聞くと、「チームワークや訓練が大切だと思った」、「人を助けることは、予想以上に厳しいと感じた」、「僕の将来の夢はレスキュー隊なので、これから頑張つてなりたい」など生徒たちも色々と感じる事があつたようです。

養父消防署

養父消防署では、消防・救急・救助・予防業務を行いました。

消防業務では、実際に消防車からホースを延ばした後、筒先を持つての放水訓練を行い、筒先に掛かる水压の強さを体験しました。

救急業務では、心肺停止の傷病者に対し、心肺蘇生法の処置訓練を行い、人工呼吸・胸骨圧迫等の蘇生術を習得しました。

救助業務では、高さ7mで長さ20mのロープを渡ったり、7mの高さから吊るしたロープを腕の力だけで



▲養父消防署トライやる6人

登る訓練と降下訓練を行いました。また、腕立て伏せ・腹筋・スクワット等の基礎トレーニングも行い、自分の体力の限界まで体力錬成をしました。

予防業務では、市内の特別養護老人ホームにて、消防訓練の現場指導並びに立入検査を見学しました。

初日は声も小さく動作も緩慢でしたが、日が経つにつれ声も大きくなり、節度ある行動が出来るようになりました。

体力錬成後には「部活の20倍はえらかった」という感想もありましたが、日々成長していく中学生の姿には、指導する署員も感心するほどでした。



△ロープ渡過訓練

消防写真館



消防訓練

(5月13日 山東自然の家)

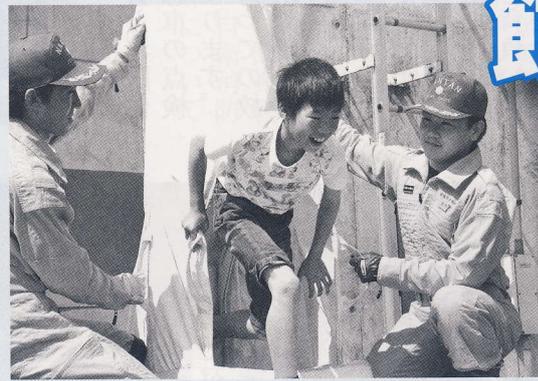
山東自然の家で消防訓練が実施されました。多くの児童が安心して宿泊体験ができるようにと真剣に訓練されました。



普通救命講習会

(5月1日 南但馬自然学校)

南但馬自然学校で教職員を対象とした普通救命講習を実施しました。AEDを使用した実技も積極的に取り組まれました。



社会見学 (5月28日 関宮小学校[左]、5月14日 養父小学校[中]、5月22日 生野小学校[右]、)

管内の小学校4年生が消防署の仕事学ぶため社会見学に訪れました。児童たちは、消防車両等の説明を受け、実際に空気呼吸器を背負ったり、煙の体験や救助袋を使った脱出訓練を行いました。

消防白書

平成25年
1月～5月

火災

※火災による負傷者発生
出火件数は両市合わせて19件で、前年同期と比べると1件減少しています。その中で、朝来市では2月に、火災による負傷者が1名発生しています。

| 地域別 種別 | 総数 | 朝来市 | 養父市 |
|-----------|------------|------------|----------|
| 総数 | 19 (20) | 13 (11) | 6 (9) |
| 建物 | 6 | 3 | 3 |
| 林野 | 3 | 2 | 1 |
| 車両 | 1 | 1 | — |
| その他 | 9 | 7 | 2 |

()内は前年同期数

救急

※出場件数・搬送人員
共に減少

出場件数は1200件、搬送人員は1118人で、前年同期と比較すると件数で27件、搬送人員で5人と、わずかながら減少傾向にあります。

救助

※交通事故が多数

出動件数は31件で、13人を救助しました。

| 地域別 種別 | 総数 | 朝来市 | 養父市 |
|-----------|------------|------------|------------|
| 総数 | 31 (31) | 16 (11) | 15 (20) |
| 交通事故 | 21 | 13 | 8 |
| 機械 | 1 | 1 | — |
| 一般負傷 | 1 | — | 1 |
| その他 | 8 | 2 | 6 |

()内は前年同期数

| 地域別 種別 | 総数 | 朝来市 | 養父市 |
|-----------|------------------|--------------|--------------|
| 総数 | 1,200 (1,227) | 595 (625) | 605 (602) |
| 急病 | 711 | 357 | 354 |
| 交通事故 | 112 | 71 | 41 |
| 一般負傷 | 174 | 83 | 91 |
| その他 | 203 | 84 | 119 |

()内は前年同期数



消防訓練 (4月27日 但馬重機株式会社)

但馬重機株式で訓練を実施しました。消火器の取り扱いについて説明を受けた後、訓練用消火器を使って消火訓練を行いました。



消防教室 (5月27日 八代[左]、上早田[右])

毎年、クリーン作戦の機会に地区あげでの消防教室が行われています。今年も多く多くの住民が参加して、消火栓や消火器の取り扱い方法を確認するなど防火意識の高揚が図られました。



市職員新人研修 (4月16日 消防本部)

今年採用された朝来市役所の職員が消防本部で新人職員研修を受けました。研修の一環として実施した心肺蘇生法訓練にも真剣に取り組まれていました。



自衛消防訓練 (5月29日 かるべの郷)

特別養護老人ホームかるべの郷にて、避難・消火訓練を実施しました。いざという時の的確な行動が出来る様、実技中心に行い、みなさん熱心に訓練に取り組まれていました。

東日本大震災の影響による電力不足を懸念して、今年の夏も節電対策として扇風機が活躍しそうです。今年5月中旬より、最高気温が30℃を超える真夏日が続く、例年以上の早さで暑い日が観測されています。もうそろそろ夏本番、扇風機の出番の季節です。そんな中、製造から10年以上経過した古い扇風機を使用している、火災になるケースが発生しています。南但消防本部管内でも、過去に扇風機に関する火災が、養父市で3件、朝来市で2件発生し、その火災原因はいずれも経年劣化でした。10年以上経過した古い扇風機をご使用される場合には、次のような状況があれば注意が必要です。

- ※スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ※回転が異常に遅かったり不規則だったりする。
- ※ファンが回転するときに異常な音や振動がする。

古い扇風機(長期間使用)に火災の可能性:

火災調査レポート

〜扇風機〜

※モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがある。

※電源コードに傷や破れがある。

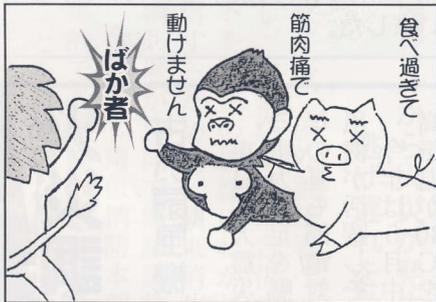
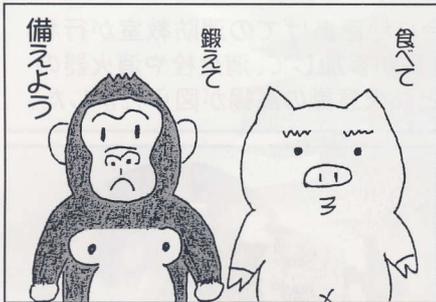
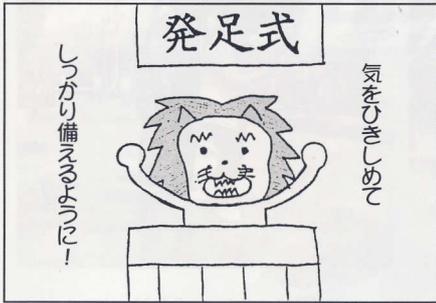
※電源コードに触れただけでファンが回ることがある。

家庭用電気製品は、長期間使用しているうちに、熱湿気、埃の影響により部品が劣化し、発煙・発火に至るおそれがあります。使用前に点検し、異常等を認めるときには使用を中止して、販売店やメーカーに相談してください。

熱中症対策のために、エアコンと扇風機を上手に使い分けながら、無理のない節電対策を心掛けてください。



森の消防署



NANTAN 119だより

NANTAN 119だより創刊号

2013年7月1日発行 (年3回発行)

- 発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1
- TEL 079-672-0119
- FAX 079-672-5046

南但消防本部



INFORMATION

お知らせ

◆38人目の
救急救命士誕生

兵庫県救急救命士養成所での約半年間の研修を終え、国家試験に合格し、救急救命士となった福島忠治消防司令補(43)です。

『これからさらに経験を積み、知識と技術の向上のため日々の自己研鑽に努め、市民の皆様の安心と安全に尽くしていく所存です。どうぞよろしくお願ひします。』

◆平成25年度
全国統一防火標語

消すまでは
心の警報 ONのまま

◆平成25年度
危険物安全週間推進標語

あなたこそ
無事故を担う 司令塔

◆危険物安全・安心大会

6月6日、神戸市で開催された平成25年度兵庫県危険物安全・安心大会において、次の事業所と次の方が受賞されました。

【全国危険物安全協会
理事長表彰】

◇危険物保安功労者
金山 彰治 様
(有)金順商店



【公益財団法人 兵庫県危険物安全協会理事長表彰】

◇優良危険物取扱者
但馬 正敏 様
(株)但馬本店

西谷 信弥 様
(株)マックアース・パークホテル白樺館

◇優良事業所
トキハ産業(株)
和田山工場 様
(株)西村商店
八鹿給油所 様

◆危険物安全協会表彰
危険物の保安に功績のあ

った事業所及び危険物取扱者に対し、平成25年度の各危険物安全協会会長表彰が行われました。

◆朝来市危険物安全協会

◇優良危険物取扱者
成田 健一 様
(日ノ丸産業(株)竹田給油所)

神崎 礼一 様
(株)西日本宇佐美
312号和田山SS)

◇優良事業所
兵庫県
レンジリング(株)
西宮市立山東自然の家 様

◆養父市危険物安全協会

◇優良危険物取扱者
田村 康裕 様
(公立八鹿病院)

◇南但消防本部消防長表彰
(優良事業所)
木の花観光(株) 様

職員募集のお知らせ

消防職員採用試験を9月に実施します。
※詳細は消防本部管理課にお問合せください。

編集手帳

4月通勤途中、新しいランドセル、帽子の小学1年生が上級生に連れられ通学していました。思わず「ピカピカの1年生」と口ずさみ徐行しながら通り過ぎました。

この4月1日に養父市・朝来市両消防本部が合併して南但消防本部になりました。職員に新しい消防服の貸与がありました。

4月13日朝、寝ていたら淡路島地震、消防教室では落ち着いてと言っておりますが、全く何もできず横揺れが静まるのをベッドで待つばかりでした。頭の中はついに「南海トラフ大地震」が発生したのかと思ひ、家人にテレビを見るように指示、出勤準備をしますが新しい消防服は生憎洗濯中、着るものがなく慌ててしまいました。普段の「備えの大切さ」を思うばかりでした。